

守口市エイフボランティアネットワーク

(愛称)「エイフ」の意味

- Active in Philanthropy
環境・医療・福祉の奉仕活動を行う
「APh」エイフ
- Advance to the Future
未来に近づく
「AF」エイフ
- Environment Welfare Health
環境 福祉 健康
「EWH」エイフ

- 結核予防活動の推進
- 生活習慣病予防運動の推進
- 食生活改善の推進
- 乳幼児の健康を守る運動の推進
- エイズ予防運動の推進

昭和 29 年に「健康で明るく住みよい地域の実現」を目指して大阪府衛生婦人奉仕会の設立と同時に守口支部として「守口市衛生婦人奉仕会」が結成され、平成 7 年に時代に添った活動をとの思いからエイフボランティアネットワークと改称しました。

エイフのマークの由来



女性が両手を上げて輪を作り、その中に「エイフ」の文字と若芽・双葉が図案化されて描かれています。
みんなで輪を作り、ボランティア精神を持って活動し、新しい力と知恵・知識などを取り入れ、エイフの発展を祈る、そんな思いがこのマークに込められています。

- 環境・清掃美化運動の推進
- 犬を正しく飼う運動の推進
- 自然保護に協力
- そ族昆虫駆除運動の推進



平和のつどいにて すいとん作り



メイクアップロード大阪



健足会(春・秋 年 2 回)

わたしたちの活動



守口市エイフボランティアネットワーク
会長 樋口 ミツ子

守口市エイフボランティアネットワークは、医療・福祉・環境の三本柱で活動しています。歴史は古く、昭和 29 年に「健康で明るく住みよい地域の実現」を目指して大阪府衛生婦人会の設立と同時に、守口支部として「守口市衛生婦人奉仕会」が結成されました。今から 20 年前の平成 7 年に、時代に沿った活動をしようとの思いから、「守口市エイフボランティアネットワーク」と改称しました。

府や各種団体との連携をとりながら運営に当たる総務部、疾病予防と健康づくりの活動を展開する予防衛生部、生活環境の改善を図り、住みよい町づくりを目指す生活環境部、機関紙の発行や府エイフの機関紙に寄稿する広報部の 4 部会と校区長会、防災組織があります。毎月定例会を開き、地区長と各部が出席し、活動しています。

心とからだを元気に

各校区では地区委員が中心となって年 1 回の「地区研修会」を開催し、心と身体の健康を啓発するとともに、地域の親睦しんぼくを図っています。予防部会ではロコモ・認知症予防などに関する講座を企画。そして健康推進課が企画する健康講座への参加の呼びかけなどに協力し、健康意識の向上を図っています。やはり健康を維持するには歩く事が大切だと思えますので「健足会」と称して、鶴見緑地公園や中之島かいわいなどへのウォーキングを年 2 回開催し、広く会員に参加を呼びかけています。結核予防活動の推進においては、結核予防複十字シール募金に力を入れています。この時代に信じられないかもしれませんが、大阪は結核罹患率がワーストワンです。このことも多くの市民に知ってもらい、結核予防にご協力をお願いします。

生活環境部

生活環境の改善を図り、住みよい町づくりを目指して活動を展開

予防衛生部

各関係機関と連携し疾病予防と健康づくりの活動を展開

総務部

大阪エィフと伝達を密にし各種関係団体と連携をとりながらの運営に当たる

広報部

機関紙発行と府エィフ機関紙に寄稿、活動記録(写真)

防災組織

災害時にはいち早く救助体制を立ち上げる事を目的としている

校区長会

校区を運営。会員募集や研修会開催、活動の周知(17 校区)

主な受賞

昭和 57 年	全国保健衛生大会厚生大臣賞	平成 12 年 4 月	緑化推進運動・建設大臣賞
平成 10 年 5 月	地区組織活動功労者・知事賞	平成 13 年 8 月	道路ふれあい月間・国土交通大臣賞
平成 11 年 6 月	豊かな環境づくり大阪府民会議・大阪環境賞	平成 13 年 10 月	瀬戸内海環境保全地区組織会議賞
平成 11 年 8 月	道路事業に協力・日本道路協会会長賞	平成 13 年 10 月	瀬戸内海環境保全地区組織会議賞
		平成 15 年 7 月	緑化推進運動功労内閣総理大臣賞



生活習慣病口コモ・認知症予防講座



ホウ酸だんご作り



市民まつり・複十字シール募金活動

食育について

守口市エィフは「食生活改善推進協議会」に参加し、メタボリックシンドローム予防として減塩食・低カロリー食を推奨しています。また最近では朝食を摂らない人が多くなっているため、それをいかに減らすかを課題として取り組んでいます。

今年度はスーパードイベントとして、夏休み中の子どもたちを対象に食の大切さを実感してもらおうと「手ばかり・目ばかり」という言葉を教えて、1日の野菜摂取量を手に取って実感してもらおうなど、またバランス良く食べ物を摂取するための工夫として、布などで作ったおもちゃの食材を利用し、栄養士の話を聞きながら食の大切さを考えてもらう企画に参加します。守口市エィフでは今年初めての企画として、親子で楽しめるクッキングを行います。

また、市民保健センターで行われている離乳食講習会では、食材・食器の準備などの介助をしながら、子育てのお手伝いができる事に喜びを感じています。今年度はこれら「食育」を1番の柱として活動しています。

生活環境を良くしたい

花と緑の推進運動として、市民まつりにおいてチューリップの球根を配布しています。また「環境フェア」や大阪府・枚方土木事務所主催の「メイクアップロード大阪」への参加、市内公共施設の清掃などの清掃活動を行っています。毎年4月には害虫の発生にあわせて、市内各地区でホウ酸だんご作り講習会を開催し、皆さんに喜んでいただいています。

防災組織

4年前の東日本大震災の時には、食生活改善推進協議会が現地へ駆けつけ、炊き出しを行ったり飲料水の確保などの支援を行いました。守口市エィフも独自の防災マップを作成し、いざという時に備えています。

会員の高齢化が進んでいます。校区の集まりから若いお母さんの参加を働きかけながら、次代の担い手の参加をお待ちしています。